

問題 1

- (1) 周期  $T$  のある周期関数  $f_T(t)$  が与えられている。当該周期関数の周期は  $T = 2\pi / \omega_b$ 、時刻  $t = 0 \sim T$  の 1 周期分の波形は  $f_T(t) = \cos(r\omega_b t)$  で規定されているものとする。この周期関数をフーリエ級数展開

$$f_T(t) = \sum_{n=-\infty}^{\infty} F_n e^{jn\omega_b t} \text{ し、そのフーリエ係数 } F_n \text{ を求めよ。}$$

- (2)  $r = 5$  とした場合のフーリエ係数  $F_n$  から、 $n = -10 \sim 10$  の範囲のスペクトルを図示せよ。(ヒント: 関数  $g_A(x)$ 、 $g_B(x)$  が共に  $x = a$  で微分可能で  $\lim_{x \rightarrow a} g_A(x) / g_B(x) = \infty / \infty, 0 / 0$  であるとき、 $\lim_{x \rightarrow a} g_A'(x) / g_B'(x) = \lambda$  ならば

$$\lim_{x \rightarrow a} g_A(x) / g_B(x) = \lambda \text{ が成り立つ}$$

- (3)  $r = 5 + 1/12$  とおくと、周波数成分  $F_0$  すなわち直流成分を求めよ。角周波数  $\omega_b$  の正弦波により規定される周期関数  $f_T(t)$  がなぜ直流成分を有するのか考察せよ。

問題 2

- (1) 符号周期  $T_b$  のデジタル信号に波形整形フィルタの伝達関数が以下の 2 つで与えられる波形整形を施す場合を考える。ここで、 $\omega_b = 2\pi / T_b$  とする。

$$H_1(\omega) = \begin{cases} 1 & \text{ただし } -\omega_b/2 \leq \omega \leq \omega_b/2 \\ 0 & \text{上記以外} \end{cases}, \quad H_2(\omega) = \begin{cases} 1 & \text{ただし } -\omega_b/4 \leq \omega \leq \omega_b/4 \\ 0 & \text{上記以外} \end{cases}$$

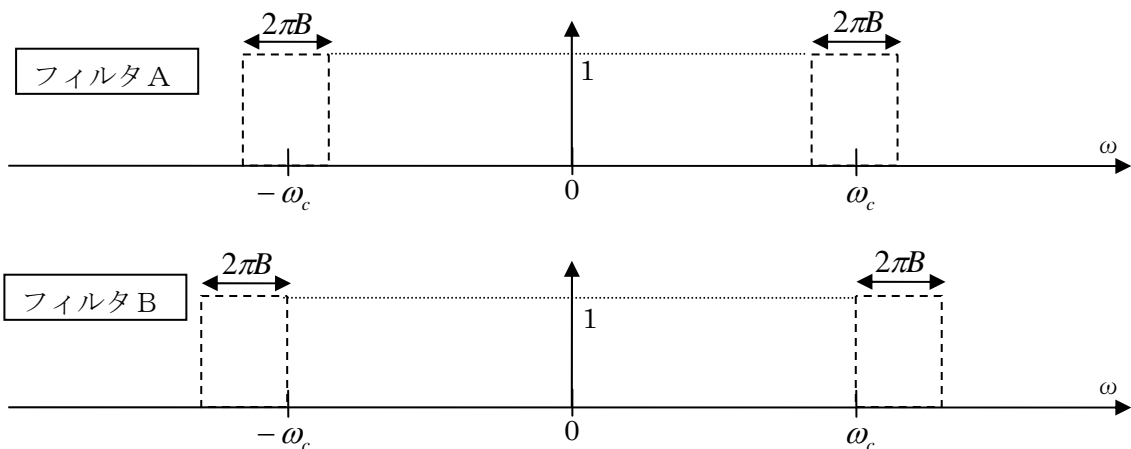
これらの 2 つの波形整形フィルタ  $H_1(\omega)$ 、 $H_2(\omega)$  のインパルス応答  $p_1(t)$ 、 $p_2(t)$  をそれぞれ求め、図示せよ。符号間干渉が発生する波形整形フィルタはどちらか答えよ。

- (2)  $p_1(t)$ 、 $p_2(t)$  のうち、符号間干渉が発生しないほうの信号に雑音電力密度スペクトル  $S_n(\omega) = N_0/2$  の白色雑音を加えた後、 $H_A(\omega) = H_1(\omega)$  で与えられるフィルタを通過させる。フィルタ通過後の信号の時刻  $t = 0$  における SN 比  $\gamma$  を求めよ。

問題 3

- (1) 帯域  $-B \sim B$  [Hz] に帯域制限され、かつ当該帯域全体に渡る周波数成分を有するある実信号  $s(t)$  が与えられている。 $s(t)$  のフーリエ変換を  $S(\omega)$  とすると、 $s(t)$  に  $\cos \omega_c t$  を掛けて振幅変調した信号のスペクトル  $S_M(\omega)$  を  $S(\omega)$  により式で与えよ。

- (2)  $S_M(\omega)$  を下記 2 つの帯域通過フィルタへそれぞれ通す場合を考える。



各フィルタを通過した変調信号に  $\cos \omega_c t$  を乗じ、さらに帯域  $-B \sim B$  [Hz] の低域通過フィルタを通過させ復調する場合を考える。もとの信号  $s(t)$  に比例した信号が得られるのはどちらか？また、そのことを示せ。